

事務事業名		地域医療調査研究事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目																										
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進					会計	款	項	目	事業																						
	基本事業名	02 地域医療体制の充実			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 21 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	04	01	01	36																						
根拠法令		県国保連市町村医師養成事業実施規則																															
所属	部課名	生活福祉部国保年金課																															
	課長名	今野芳彦																															
	係名	地域医療係	電話	27-3111																													
	担当者	佐々木浩久	内線	149																													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・県立大船渡病院の医療体制に関する情報を共有しあい、医療体制に係る充実・強化対策について協議し、必要な事業を実施する。 ・主な業務は、情報の収集、会議の開催、要望活動等必要な事業の実施、資料の作成、報酬等の支払等である。 ・事業費は、要望活動等出張旅費、意識啓発用チラシ印刷代、会議出席者への報酬及び費用弁償等として計上している。 ・地域医療の整備促進については、現在「気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会」において検討を進めており、その検討経過を注視しながら、地域医療体制検討会の開催を企画する。							全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>			総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																															
		都道府県支出金																															
		地方債																															
		その他																															
		一般財源																															
	事業費計(A)	0																															
人件費	正規職員従事人数																																
	延べ業務時間																																
	人件費計(B)	0																															
トータルコスト(A)+(B)		0																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 県立大船渡病院の医師充実対策について要望 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 県立大船渡病院の医師充実対策について要望	  	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 医療体制充実の要望回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 医療体制充実の要望回数	回	イ		ウ	
		名称	単位							
		ア 医療体制充実の要望回数	回							
イ										
ウ										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・県立大船渡病院の診療体制及び開業医との連携体制	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 県立大船渡病院医師数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 県立大船渡病院医師数	人	キ		ク		
名称	単位									
カ 県立大船渡病院医師数	人									
キ										
ク										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・県立大船渡病院医師数の増加 ・常勤医師不在診療科をなくす ・開業医との連携を強化する	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 常勤医師不在診療科数</td> <td>科</td> </tr> <tr> <td>シ 新たに常勤医師が配置された診療科数</td> <td>科</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 常勤医師不在診療科数	科	シ 新たに常勤医師が配置された診療科数	科	ス		
名称	単位									
サ 常勤医師不在診療科数	科									
シ 新たに常勤医師が配置された診療科数	科									
ス										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・医療サービスの充実										

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	1	1	3	142	300	300
			事業費計 (A)	千 円	1	1	3	142	300	300
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	100	100	80	80	100	50	
		人件費計 (B)	千 円	400	400	320	320	400	200	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	401	401	323	462	700	500
⑤活動指標			ア	回	1	2	1	2	2	2
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	59.025	62.425	60.115	63	64	64
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	科	7	6	6	5	4	4
			シ	科	0	1	0	1	1	0
			ス							

事務事業ID	0133	事務事業名	地域医療調査研究事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

県立大船渡病院において、平成19年度に呼吸器科や神経内科等の常勤医師不在に加え、循環器科の常勤医師が減員され、夜間や休日時の心臓疾患による重症患者が釜石や気仙沼の公立病院に搬送される事態となったことから、県立大船渡病院医療体制充実対策協議会を設置し、県立大船渡病院の医療体制の改善に取り組もうとしたもので、平成22年度には、協議会の中で、県立大船渡病院の勤務医の過重な労働環境が話され、市として夜間医療体制を含む今後の医療体制について検討することを要請され、検討会を設置し、協議した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

住民への意識啓発のための広報活動を実施したことにより、救命救急センターの医師確保の妨げと言われていた軽症者の夜間利用が減少した。岩手県等関係機関に対する積極的な要望活動により、産婦人科の県立大船渡病院への集約化により常勤医師が増員され医療体制が充実した。また、平成21年度に検討会を立ち上げ検討会を開催し、休日当番医を含む時間外診療体制について気仙医師会の会員に対するアンケート調査を実施し、初期救急への開業医の対応について検討したが、夜間診療体制構築までには至っていない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

勤務医の過重な勤務状況についての理解度が進み、医療サービスの充実のために住民が取り組むという意識の醸成につながっている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 診療体制の充実は、市民の生涯にわたる健康づくりの推進に繋がる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 地域医療を守ることは、住民の生涯にわたる健康づくりには欠かせないものであり、住民の願いである。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 効率的な医療体制を確保するために妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ より効率的な体制を構築する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 医療体制の充実は放棄できない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 県立病院運営協議会(県立病院主催)や気仙圏域医療連携推進会議(保健所主催)など、同様の委員が集まる会議があり、統合・合理化を提案したが、開催目的が異なることを理由に保健所等からは統合には難色を示されている。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 地域医療の確保は、国、県及び市町村にとって最優先課題の一つでもあり、事業の削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 職員は1人(兼務)であり、削減余地なし。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 地域医療を守ることは、受益対象は全市民であることから、公平、公正な事業である。

事務事業ID	0133	事務事業名	地域医療調査研究事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成25年度は岩手県医療局等への要望活動と、気仙医師会との懇談会開催が主で、医療連携等に関しては、気仙広域県境未来都市医療・介護・保健・福祉連携会議において検討を進めている。震災前に、大船渡病院における救急医療活動に開業医が携わることについて、開業医へのアンケートを実施して協議したが、時期尚早との意見が多く実現には至らなかった。今後の医療体制に関しては震災後の医師の状況等を踏まえ、再度方向性を検討する。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会の検討結果を踏まえ、1次救急体制のみならず、中核病院と開業医との連携・情報交換の円滑化等に係る新たな体制づくりを目指す。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 環境未来都市における協議において、目標と手段が逆転していないか注意する必要がある。																							

4 事務事業の2次評価結果	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	国保年金課長	今野芳彦

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 医療体制の充実のためにも、より効率的な体制を構築する必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 県立病院運営協議会(県立病院主催)や気仙圏域医療連携推進会議(保健所主催)の検討内容や気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会の検討状況を踏まえ、事業内容の検討が必要である。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
